

富士の民話 あれこれ

今泉一の宮の

曾我堂

今泉の十王子神社の境内に「曾我堂」と呼ばれるお堂があります。このお堂の中には、曾我物語で知られる曾我兄弟の弟・曾我五郎の木像を祭つてあると言われています。

今回は、この曾我堂に伝わる話を紹介します。



今から五百年くらい前のことです。

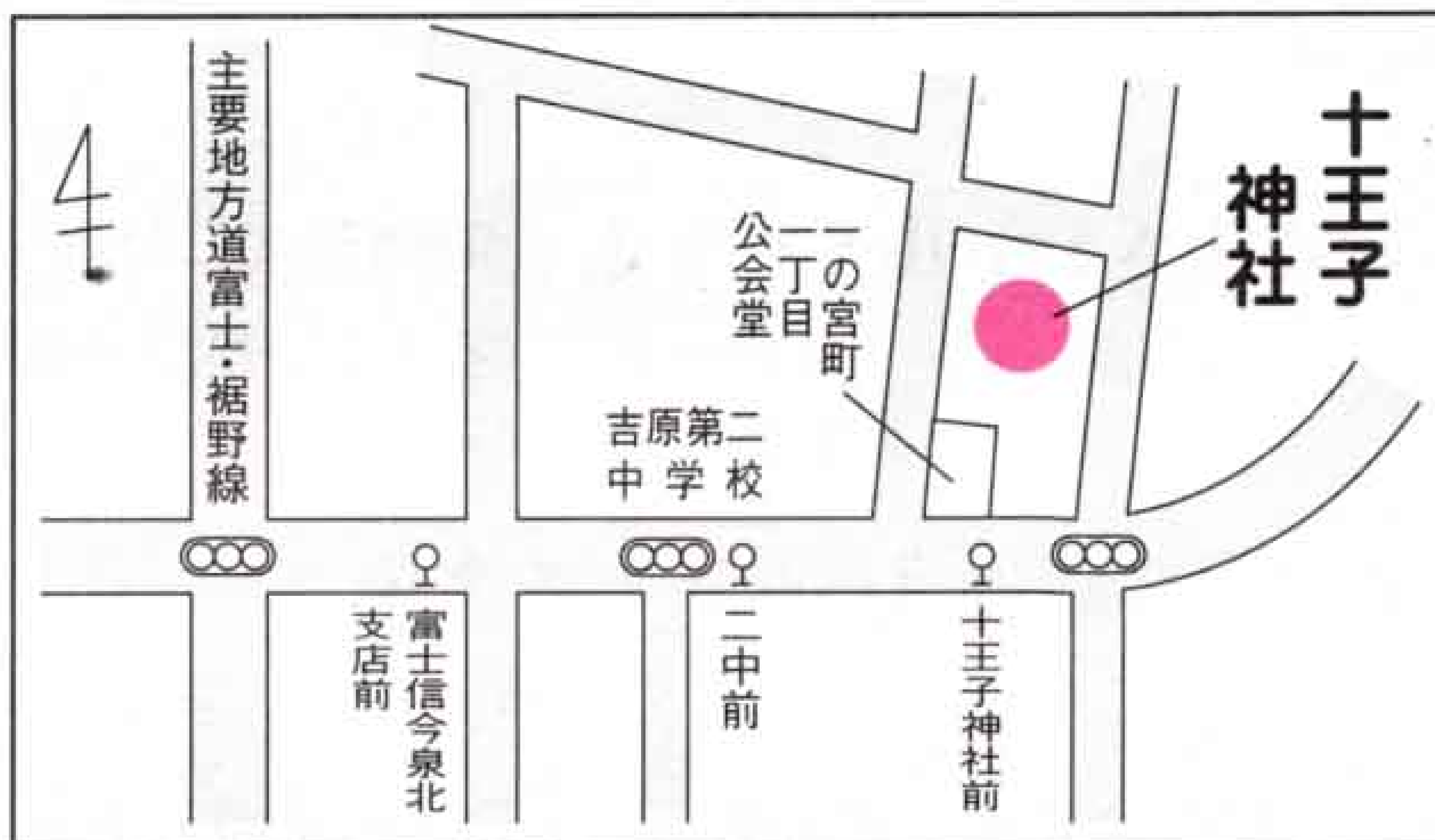
今泉に善徳寺という臨済宗の大きなお寺がありました。そのお寺の竺帆和尚というお坊さんが、ある晩夢を見ました。それは、富士の巻き狩りのとき、親のかたきを討った曾我五郎の亡霊が、善徳寺の門前に立ち、竺帆和尚にぜひ会いたいと言いました。和尚は、五郎を本堂に入れ、話を聞きました。五郎は、「私は今地獄の修羅道で、成仏できなくて困っています。どうか、あなたのお力で、私を成仏させてください」と言うので、和尚は、「よろしい。私の法力で必ず成仏させてやるから静かに待っていていなさい」と言いました。

五郎の亡霊は、にっこり笑って姿を消しました。竺帆和尚は、それから三日三晩、寝ずに五郎の木像を刻み、ほこらを建てて、その中に木像を祭り、毎晩お経を上げて五郎の魂を供養しました。そして毎年五月二十八日には盛大な祭典をしたそうです。

今ではお堂の中に木像はありません。また、史誌などによると、曾我堂は昔、この町内にある曾我小路と呼ばれる小路の奥にあったということですが、いつごろまであったのかなど、ほとんど伝えられていませんね。

私が子供のころは、よく十王子神社で遊び、鬼ごっこで曾我堂の中に隠れたりしたものです。そのころは、お堂は拜殿のすぐ東側にあったのですが、昭和十五年に火事があったので、今の場所に移されたのです。そして、昭和三十年に吉原二中の校舎を増設する際、なぜかお堂の中に山の神様も入れて合祀するようになりました。

毎年一月十五日には、この町内で山の神様の祭りをを行い、曾我堂を開帳します。しかし、山の神様は知られていますが、若い人など曾我さんのことを知らない人が多いのではないのでしょうか。



十王子神社前氏子総代表
鈴木 徳治さん
(今泉五丁目)

こちら編集室

ことしはスギ花粉の飛散量が多く初めて花粉症や鼻炎になった人は私ばかりでなく多かったとか。日ごとに春らしくなり花粉も減り、桜の開花とともに出会いと別れの季節がきた。広報広聴課に勤務して6年。ことしの人事異動で職場が変わることになった。苦しい思い出、楽しい思

い出もある中、チームワークのよい職場で仕事ができ、出会った上司や仲間に感謝します。特に厳しい言葉の中にも優しいまなごしの女性上司、大きなお腹とともに懐の深い上司などなど…。そして、新しい職場で新しい自分に出会いたい。
(燃えるいい…)

人口 239,177人 (前月比+117)
男 118,997人 (+54)
女 120,180人 (+63)
世帯 79,468世帯 (+112) 3月1日現在
編集・発行 富士市総務部広報広聴課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100 ☎51-0123

